

東証プライム サンリオ (8136)

『ハローキティ』等キャラクター商品の企画・販売、ライセンス事業を展開。テーマパークも（会社四季報の「特色」から抜粋）

【今ならこれがお勧め】

現在公開中
《当選確率1%》
《ドリームジャンボ》
大化け10倍超候補

ゴールデンダイヤモンド
銘柄

当選確率を宝くじの1等の
10万倍に引き上げました！

アナリスト一覧



大石やすし



億男W



株ドクターマサト



女株将軍アスナ



スタッフA子

推しPT

双子喜ぶ度

86%

おっさん感

120%

余白度

9点

きりみちゃん
カムバック期待度

79%

最強社員度

100%

所感など（売買助言ではありません）

サンリオの強さは、人気キャラが一人勝ちすることではなく、同じ家庭の中で“推し”が分かれることにある。わが家の双子も、姉はハンギョドン、妹はシナモロール推し。誕生日や外出のたびに欲しい物が重ならず、自然に購買機会が増える。これは単なる可愛さではなく、キャラクター群が互いに顧客を奪わず、売場・ライセンス・テーマパークへ接点を広げるIPの厚みだ。海外で同じ現象が起されば、ヒットの賞味期限を延ばしながら売上を積み上げられる。足元は期待先行の調整局面でも、この「推しの分散力」はサンリオ固有の収益基盤だ。

サンリオ（8136）とOLC（4661）は、どちらも強いブランド力を持つエンタメ関連株だが、特徴は異なる。サンリオはハローキティなどのIPを活用し、商品・ライセンス・海外展開による成長余地が魅力。一方、OLCは東京ディズニーリゾートという強固な事業基盤を持ち、安定感が強みだ。株主優待はいずれもテーマパークを楽しめる内容で、優待目的の長期保有にも向く。成長性を重視するならサンリオ、安定感や優待を重視するならOLCという見方がしやすい。株価指標ではサンリオのほうがPERは低いものの、PBRは高く、成長期待が株価に織り込まれている点には注意したい。

■キティ・ホワイトと私を比較

【キティ先輩】1974年11月1日生まれ 私より2歳年上 身長：りんご5個分 体重：りんご3個分

【私】1976年11月10日生まれ 身長：一升瓶4.4本分 体重：一升瓶27.6本分

※一升瓶の高さ39.5cm ※一升瓶の重さ約3kg

キティに口がない理由を、会社は見る人の感情を映すためだと説明します。1974年生まれで一度も年を取らず、物語を持たぬ記号は、老いず、飽きられず、国境を越える。同社が売っているのは商品ではなく余白であり、余白は減価しません。今夏、過去最高益でも市場予想に届かず売られたのは、余白に値札を付ける難しさの証左でしょう。株価は物語を欲しがり、キティは物語を拒む。この緊張（矛盾）こそが本銘柄の本質です。

みんな大好き世界のキティさん。マライア・キャリー、レディー・ガガ、ケイティ・ペリー、ブリトニー・スピアーズにアヴリルラヴィーンと世界にファンを持つ。XのYOSHIKIコラボに新幹線や城になったりと仕事を選ばぬ姿勢には尊敬しかり。メロ様もしっかり見習っていただきたいものである。この柔軟性こそがスターの心をつかんで離さぬのであるうな。規模を急拡大せず、しっかり堅実に行う同社のIPビジネスモデルもまた同様である。だが拙者の推しであった「きりみちゃん」がお出かけと言う名の卒業で居なくなったのは解せぬ！<トドン>

今年のキャラクター大賞は総投票7000万票超えの大フィーバー！海外ではシナモロールやクロミちゃんが人気で世界ブーム衰えずです♪かわいいキャラを世界中にレンタルして稼ぐ夢の事業ですね♡指標面はA子でも分かりやすく、ROE40%は株主のお金を40%の利率で運用している計算で、一流企業でも20%あれば優秀と言われる数字。思えばキティちゃんって、52年間無休・無給・スキャンダルゼロで働き続ける最強の社員ですね♡ひとつだけお願いはA子の推しキャラ「おさるのもんきち」グッズをもっと増やしてほしいです〜♡